

2022年10月12日

地震・火山噴火予知研究協議会 御中

2022年度御嶽山シンポジウム実行委員会

2022年12月16-17日シンポジウム

「御嶽山、箱根山、草津白根山—水蒸気噴火および防災と観光—」の後援依頼について

謹啓、憂愁の秋の頃、貴会におかれまして、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
また平素より、御嶽山火山防災に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて長野県の木曾地域（王滝村・木曾町）では、本年度12月16-17日の2日間、名古屋大学大学院地球環境学研究科附属地震火山センター、東京工業大学理学院火山流体研究センター、長野県木曾町、長野県王滝村、御嶽山火山防災協議会（長野県）の5団体の共催により標記シンポジウムを実施いたします。シンポジウムの暫定的なプログラムについては、別添に記した通りとなります。今後の準備の段階において、タイムスケジュールなど若干の微調整がなされる可能性がございますが、ほぼプログラムは決まりつつあります。貴会におかれましては、本シンポジウムの開催にご理解頂けましたら、後援を賜りたくお願い申し上げます。

謹白

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 理学部 E 館
名古屋大学大学院環境学研究科附属地震火山研究センター
シンポジウム実行委員会 共催代表 山岡 耕春
電話 [REDACTED]

〒397-0101
長野県木曾郡木曾町三岳 10491-12 名古屋大学御嶽山火山研究施設
シンポジウム実行委員会担当者 金 幸隆 電話 [REDACTED]

令和4年10月13日

地震・火山噴火予知研究協議会
議長 谷岡 勇市郎 様

団体名...御嶽山、箱根山、草津白根山一水蒸気噴火
および防災と観光シンポジウム実行委員会.....
代表者の職・氏名
名古屋大学大学院環境学研究科 教授 山岡 耕春
所在地 〒464-8601
名古屋市千種区不老町環境学研究科長室

後援名義申請書

下記の事業について、地震・火山噴火予知研究協議会の後援名義を受けたいので、申請します。

記

事業名	シンポジウム：御嶽山、箱根山、草津白根山一水蒸気噴火および防災と観光
実施日	令和4年 12月 16日（金）～ 12月 17日（土）
会場	木曾町文化交流センター
事業趣旨又は目的	水蒸気噴火の災害対策の機能強化への新しい取り組みを紹介するほか、研究者や行政、観光事業者、住民等と連携し、それぞれの立場から災害時の対応の重要性と防災の必要性の理解を深めることを目的とする。
対象	研究者、地域防災と観光振興など行政職員・事業者、一般市民
入場・参加料金	なし
主催・共催	主催：以下の5団体による共催 共催：名古屋大学大学院環境学研究科附属地震火山研究センター、東京工業大学理学院火山流体研究センター、長野県木曾町、長野県王滝村、御嶽山火山防災協議会（長野県）
他の後援等（申請中のものも含む）	長野県、長野県上松町、日本火山学会、防災科学技術研究所、神奈川県温泉地学研究所
その他参考となる事項	別添資料として実施要項（案）を添付

以上

シンポジウム：「仮題：御嶽山、箱根山、草津白根山ー水蒸気噴火および防災と観光ー」

1. 趣旨文（案）

2014年に発生した御嶽山の噴火では、登山を楽しんでいた人が巻き込まれ、58名の尊い命が奪われ、今なお5名の方が行方不明です。悲しみに打ちひしがれた思いは、癒えることはございません。

火山の活動によって、私たち人間は自然の猛威にさらされ、被害を受けることが生じることがあります。その一方で、火山の景色は訪れた人々を和ませてくれます。また火山周辺域では、その火山の恵みによって地域社会が育まれています。したがって活火山を抱えた地元は、火山の恵みと脅威の両方を受け入れ、火山と向き合って生活を営む必要があります。

特に、水蒸気噴火は火山噴火としての規模は小さく、御嶽山域では周辺住居への影響は少ないものの、噴火により登山者客や観光客などが直接脅威にさらされ、周辺の観光産業への影響も無視できません。そこで、近年水蒸気噴火を起こした御嶽山、箱根山および草津白根山（本白根山）について、学術的に水蒸気噴火のメカニズムを深く掘り下げるシンポジウムと、各地域で生活される方を対象として観光と防災について考えるシンポジウムを開催します。初日はシンポジウム「水蒸気噴火のメカニズム」として専門家による議論を行い、2日目は一般向けのシンポジウム「噴火への備えー観光と防災ー」として、安全に火山を楽しんでもらい地域振興にも貢献する方策について議論します。

2. 日程

水蒸気噴火に関するシンポジウム：

12月16日（金）木曽町文化交流センター多目的ホール

活火山の防災と観光に関する：

12月17日（土）木曽町文化交流センター多目的ホール

※会場準備日：12月15日（木）17時～

3. 主催・共催・後援

共催：名古屋大学大学院環境学研究科附属地震火山研究センター・東京工業大学理学院火山流体研究センター・木曽町・王滝村・御嶽山火山防災協議会（長野県）

後援：長野県・日本火山学会・地震火山噴火予知研究協議会・防災科学技術研究所・神奈川県温泉地学研究所・御嶽山火山マイスターネットワーク

4. プログラム案

第1日（午後）：水蒸気噴火に関する学術シンポジウム

・ホスト：山岡、コンビーナー：萬年・寺田

・総合討論の司会者（未定）

プログラム

- 13:00 趣旨説明（名大・山岡さん：15分）
13:15 箱根山の噴火（温地研・萬年さん：50分+質問10分）
14:15 休憩（5分）
14:20 草津白根山の噴火（東工大・寺田さん：50分+質問10分）
15:20 休憩
15:30 御嶽山の噴火史（産総研・及川さん：30分+質問5分）
16:05 御嶽山の火山活動（名大・前田さん：30分+質問5分）
16:40 御嶽山の電磁気探査（名大・市原さん：30分+質問5分）
17:15 水蒸気噴火に関する総合討論（司会：北大・橋本さん 30分）
・御嶽山と箱根山
・御嶽山と草津白根山
・箱根山と草津白根山
・御嶽山への課題

第2日（9：20～15：30）：御嶽山・箱根山・草津白根山の防災と観光

登山客・観光客・住民への人的被害および観光地の経済的被害の軽減を目的とした取組みを紹介し、登山地や観光地における防災対策の今後の課題を明らかにする。

司会者：御嶽山火山防災協議会（丸山徳子さん）

● 開会の挨拶 9:20～（10分）

主催者 ご挨拶（木曾町長 原久仁男）：2分

趣旨説明（御嶽山火山防災協議会 長野県幹事長 兵藤裕一）：5分

● 御嶽山城の講演

① 御嶽山とはどのような山なのか 9:30～（45分）

御嶽山の魅力と課題（観光局・丸山専務）20分

御嶽山火山マイスターの活動から：登山者の意識調査：20分

（御嶽山火山マイスター：小林夏樹（候補））

質疑応答（5分）

② 登山者に対する安全対策の新しい取り組み 10:15～ (60分)

登山者に対する安全対策の取組み (木曽町・野田) 10分

登山者参加型避難訓練：ビーコンを使用した登山者動態の把握 (防災科研・宮城)
15分

登山者参加型避難訓練：アンケートに基づく登山者行動の把握 (名大・金)：15分

火山防災教育：噴火を想定したタイムライン授業 (木曽町・野田) 15分

質疑応答 (5分)

11:15～ 休憩 (10分)

● 草津白根山城の講演 (11:25～12:25)

③ 草津町における防災と観光の取組と課題 (座長：野田・丸山) 11:25～ (60分)

草津白根山の固有のリスクと対策 (東工大・寺田) 11:25～ (10分)

草津町町長「草津町の防災と観光の考え方」講演 11:40～12:20 (35分)

質疑 (5分)

12:15～ 昼食 (55分)

● 箱根山城の講演 (13:10～14:00)

④ 箱根町における防災と観光の取組と課題 (座長：野田・丸山) 13:10～ (50分)

候補者

萬年一剛 (箱根固有のリスクと対策?) 15分 (13:12～)

田村洋一 (箱根銀かつ) 15分

菊島信洋 (箱根町危機管理官) 15分

質疑 (5分)

14:00～ 休憩 (5分)

⑤ 経済被害に関する講演 (山梨大・秦 康範) 14:05～14:50

14:45 質疑 (5分)

⑥ 総合討論 (司会者：金) 14:50～15:30 (40分)

コメント：総合討論に含める

木曽町 (2分) 吉田 危機管理室長

王滝村（2分） 橋本悟志 総務課長

⑦ 閉会（王滝村 調整中）15：30～15：35

塩尻・長野方面：16：25 発 しなの17号

名古屋方面：16：31 発 しなの18号

人員

受付：16日・2名、17日・3名

配信：16日・2名、17日・2名

照明：16日・1名、17日・1名

司会・タイムキーパー・補助：2名

マイク：16日・2名、17日・2名

関係者：弁当予約（各自の費用負担）

費用計画

シンポジウム参加費用：なし

必要経費の分担表

経費項目	費用（円）	費用負担	備考
ポスター・チラシ広告費	25,000	御嶽山火山防災協議会（長野県）	
旅費・講師料（4人）	175,000	御嶽山火山防災協議会（長野県）	民間講演者（1名） 遠方の行政関係講演者（2名） 招待講演者（1名）
会場施設・設備の使用料	40,000	長野県木曾町	木曾町施設使用
講演者旅費	—	講演者各自	

開催日時

1日目 2022年 **12月16日** 金 13:00~18:00

水蒸気噴火に関する学術シンポジウム

プログラム (タイトルを略記しています) **水蒸気噴火の理解 ー現状と課題ー**

「水蒸気噴火の論点 (趣旨)」	山岡 耕春 (名古屋大学)
「箱根山の噴火」	萬年 一剛 (神奈川県温泉地学研究所)
「草津白根山の噴火」	寺田 暁彦 (東京工業大学)
「御嶽山の噴火史と水蒸気噴火」	及川 輝樹 (産業技術総合研究所)
「御嶽山の地震波速度構造と群発地震」	前田 裕太 (名古屋大学)
「御嶽山の電磁気探査」	市原 寛 (名古屋大学)
「御嶽山の火山監視能力の向上」	菅野 智之 (気象庁)

※総合討論 司会：橋本武志 (北海道大学)

2日目 2022年 **12月17日** 土 9:20~15:30

活火山の防災と観光に関するシンポジウム

プログラム (タイトルを略記しています) **噴火災害への備え ー防災と観光ー**

■趣旨説明 / 兵藤 裕一 (御嶽山火山防災協議会 (長野県))

■開催の辞 / 原 久仁男 (木曾町長)

■御嶽山とはどのような山なのか 9:30 ~

「御嶽山の魅力と課題」 丸山 文広 ((一社) 木曾おんたけ観光局)

「御嶽山火山マイスターの活動：登山者の意識調査」 小林 夏樹 (御嶽山火山マイスター)

■御嶽山の登山者に対する安全対策の新たな取組 10:15 ~

「登山者避難訓練 / ビーコンによる動態調査」 宮城 洋介 (防災科学技術研究所)

「登山者避難訓練 / アンケートによる行動調査」 金 幸隆 (名古屋大学)

「火山防災教育 / タイムライン授業」 野田 智彦 (木曾町)

■箱根町の防災と観光の取組 11:25 ~

「観光地における火山監視と防災」 萬年 一剛 (神奈川県温泉地学研究所)

「箱根山火山活動における観光産業と火山防災」 田村 洋一 (田むら銀かつ亭)

「箱根町の取り組む観光地の防災～令和元年の火山対応より～」 菊島 信洋 (箱根町)

■草津町の防災と観光の取組 13:10 ~

「火山災害の観点から考える草津白根山」 寺田 暁彦 (東京工業大学)

基調講演「草津町の観光行政と火山防災」 黒岩 信忠 (草津町長)

■基調講演 14:05 ~

「噴火による社会経済的影響とリスクコミュニケーション」 秦 康範 (山梨大学)

※総合討論 14:50 ~ 15:30

開催場所 **木曾町文化交流センター 多目的ホール**
長野県木曾郡木曾町福島 5129

入場無料
要申込

会場定員 100 名・WEB 参加定員なし
以下のリンクまたは右の QR コードから申し込みください。
申込締切 **12月12日** 金
申込先：<https://forms.office.com/r/8xcyPelzvc>



※事前申し込みなく当日会場参加も可能ですが、定員を超えた場合はお断りする場合があります。あらかじめご了承ください。

御嶽山・箱根山・草津白根山 ー水蒸気噴火および防災と観光ー
御嶽山シンポジウム
御嶽山 (2014)、箱根山 (2015)、草津白根山 (2018) で発生した水蒸気噴火を振り返り、火山防災への取組と課題を住民と行政、研究者が共有し、活火山と共生する地域づくりを推進することを目的としたシンポジウムを開催します。



主催：御嶽山・箱根山・草津白根山ー水蒸気噴火および防災と観光ーシンポジウム実行委員会 (名古屋大学大学院環境学研究所附属地震火山研究センター・東京工業大学理学院火山流体研究センター・長野県木曾町・長野県王滝村・御嶽山火山防災協議会 (長野県))
後援：長野県・長野県上松町・日本火山学会・地震火山噴火予知研究協議会・防災科学技術研究所・神奈川県温泉地学研究所・御嶽山火山マイスターネットワーク
お問い合わせ：長野県木曾地域振興局 総務管理・環境課
TEL 0264-25-2213 FAX 0264-23-2583
名古屋大学御嶽山火山研究施設
TEL 0264-24-0131 FAX 0264-24-0132